

令和7年度 第2回さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会次第

日時：令和8年3月10日(火) 14時00分

会場：青少年宇宙科学館 団体抛室

1 開 会

2 議 事

(1) 令和7年度 事業報告について

(2) 令和8年度 事業計画について

(3) その他

3 閉 会

令和7年度 さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会 委員名簿

		氏名	職名・所属団体等
委員長		オオムカイ 隆三 大向 隆三	埼玉大学教授
委員	1	ツルガヤ トウコ 鶴ヶ谷 柊子	浦和大学准教授
	2	スガノ チカ子 菅野 千香子	さいたま市PTA協議会
	3	サクマ ユキ 佐久間 由記	青少年育成さいたま市民会議
	4	スズキ ノブタカ 鈴木 伸嘉	公募委員
	5	キムラ ヨシツグ 木村 良治	公募委員
	6	アエバ マスヲ 饗庭 加和	さいたま市私立幼稚園協会
	7	ヒキマ ヨウコ 引間 陽子	さいたま市立小学校校長会 (さいたま市立北浦和小学校長)
	8	スズキ マユミ 鈴木 真由美	さいたま市立中学校校長会 (さいたま市立美園南中学校長)
	9	ネギシ キミカズ 根岸 君和	さいたま市立高等・中等教育学校校長会 (さいたま市立大宮国際中等教育学校長)

※1

任期 令和6年7月1日から令和8年6月30日まで。

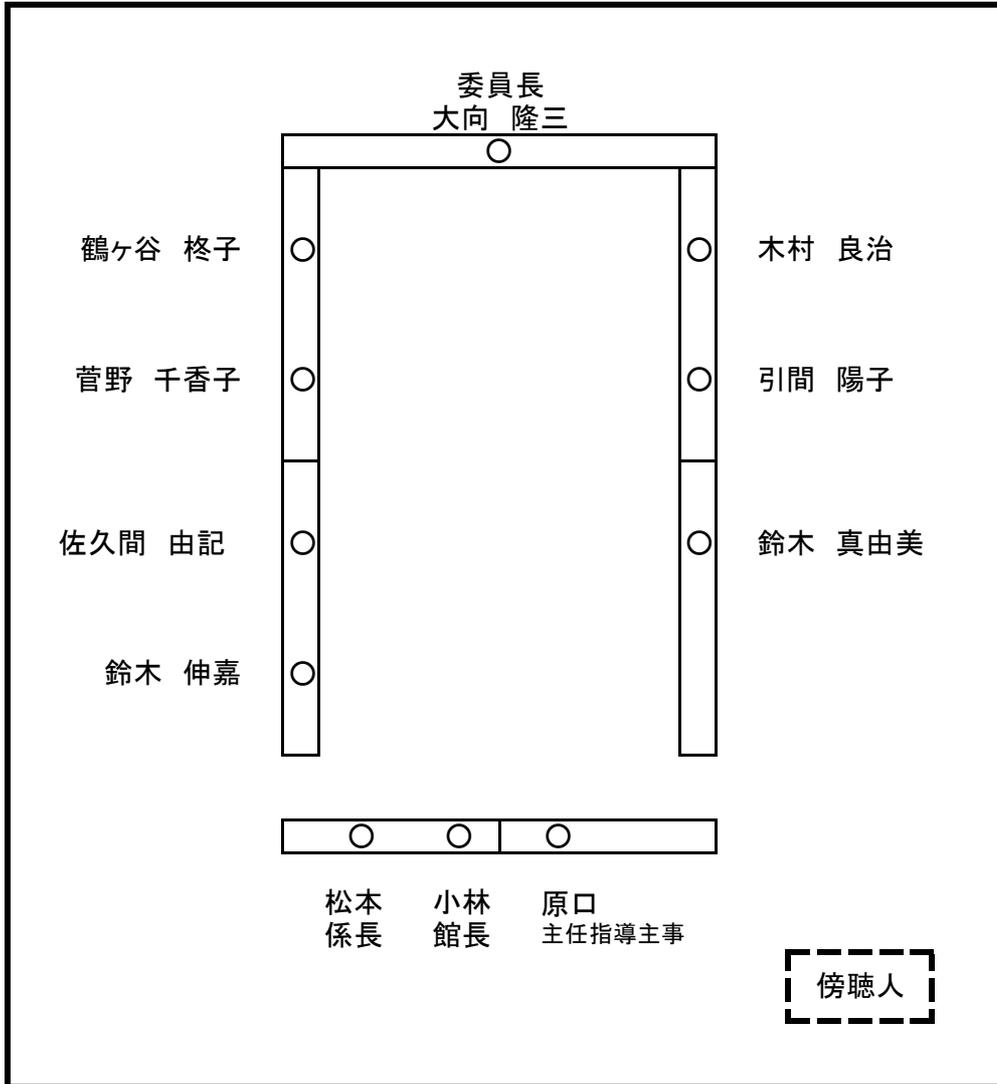
※1：佐久間委員の任期は、令和7年7月1日から令和9年6月30日まで。

さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会 座席表

日時: 令和8年3月10日(火)

14時00分~

会場: 団体抛室



令和7年度 さいたま市青少年宇宙科学館 第2回 運営委員会



◆◆◆ 次 第 ◆◆◆

- 1 開会
- 2 議事
(1)令和7年度事業報告について
(2)令和8年度事業計画について
(3)その他
- 4 閉会

令和8年3月10日(火) 14時00分 開会

1

目次

(1) 令和7年度 事業報告	
令和7年度の主な事業	3
○「宇宙のまち さいたま」フォーラム	7
○展示事業	12
○プラネタリウム投影事業	19
○普及事業	23
○若田宇宙飛行士関連事業	23
○学校等支援事業	25
統計	29
広報関係概要	32
令和7年度 成果と課題	34
(2) 令和8年度 事業計画	36

2

2

3 令和7年度の主な事業

○展示事業

- 「おもしろ！むしむしワールド2025」
- 「電気の不思議ミュージアム」
- 「錯視展」 等

○プラネタリウム投影事業

- ・一般投影「ドラえもん」、「しまじろう」他3番組
- ・特別投影「プラネタリウム de 読み聞かせ」
「はじめてのプラネタリウム」
「熟睡プラ寝たりウム in さいたま」
- ・学習投影 ・七夕投影 ・幼児投影 他

3

3

○普及事業

- ・天体観望会、自然観察教室などの教室事業
- ・館内イベント(定例ワークショップやサイエンスショー等)

○若田宇宙飛行士関連事業

- ・若田宇宙飛行士アカデミー
- ・若田名誉館長杯ローバーロボット大会2025
- ・高校生ロケット大会2025

4

4

○学校等支援事業

- ・スクール・サポート・サイエンス事業
(出前授業、出前天体観望会)
- ・サイエンスフェスティバル(ワークショップ)
(動画コンテスト)
- ・中高生等による科学館ボランティア

○その他

- ・さいたま市生涯学習「学びのネットワーク」
- ・さいたま市から「体験の風をおこそう」運動

5

5

○展示更新

- ・ 気象観測機器の撤去と
「しずくのストロボショー」の新設
- ・ お絵描き蓄光ボードの設置

6

6

「宇宙のまち さいたま」フォーラム

講演会 青少年ホール
令和7年11月16日（日） 参加者：123人



感想

- OSLIMの打ち上げ中継を見守り、SORA-Qの画像が公開されたとき感動しました。開発に携わった方のお話を伺うことができうれしかった。
- 全く異なる分野でも目線が違うことで応用ができること、とても感動しました。
- プレゼンテーションも素晴らしかった。
- 火星移住の発表が面白かった。

7

「宇宙のまち さいたま」フォーラム

ワークショップ

令和7年11月14日（金）15日（土）
参加者：1,227人

「宇宙のまち さいたま」展

令和7年10月25日（土）～11月24日（月・祝）
期間内来館者：9,987人

- ①「宇宙のまち さいたま」紹介コーナー
- ②宇宙や宇宙開発についての展示・体験コーナー
- ③SORA-Q体験会
- ④特別投影



8

展示事業

令和7年度企画展一覧

R8.2.28現在

	企画展名	期間	概要	期間中 来館者数
I	ワクワクロボットランド2025	R7.4.1～ R7.5.6	パズルやロボットなどで遊びながら科学にふれる展示。	14,129人
II	おもしろ！むしむしワールド2025	R7.5.17 ～R7.7.6	太古の原始的な昆虫模型や多様な現生種の実物展示。カブトムシふれあい体験。	24,882人
III	電気の不思議ミュージアム (夏休み子ども科学館まつり含む)	R7.7.19 ～ R7.10.13	暮らしに欠かせない「電気」をテーマにした体験展示。	46,774人

9

9

展示事業

令和7年度企画展一覧

R8.2.28現在

	企画展名	期間	概要	期間中 来館者数
IV	「宇宙のまち さいたま」展	R7.10.25 ～ R7.11.24	「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの紹介コーナーや宇宙や宇宙開発の展示。	9,987人
V	キミはだまされる！？錯視びっくりな世界	R7.12.6～ R8.2.8	大きさの認識や色彩に対する感覚を意図的に狂わせる錯視や撮影スポットの展示。	16,396人
VI	「宇宙の日」作文絵画コンテスト作品展	R7.12.25 ～R8.1.18	宇宙の日を記念した作文絵画コンテストの入選作品を展示。	5,664人
VII	星景写真展	R8.2.14～ R8.3.15	美しい星景写真や映像、撮影風景の展示。	開催中

10

10

企画展Ⅰ 『ワクワクロボットランド2025』

令和7年4月1日（火）～令和7年5月6日（火・休）



11

企画展Ⅱ

『おもしろ！むしむしワールド2025』

令和7年5月17日（土）～令和7年7月6日（日）



展示物



カブトムシふれあい体験

12

12

企画展Ⅲ『電気の不思議ミュージアム』

令和7年7月19日（土）～令和7年10月13日（月）



展示物



13

13

企画展Ⅲ『夏休みこども科学館まつり』

令和7年7月23日（水）～令和7年8月11日（月・祝）

ワクワクワークショップ



【製作物】

・銀河スライム

・手作り万華鏡

・星座キーホルダー

ワクワクサイエンスショー
夏休み自由研究スペシャル

博物館実習生による
サイエンスショー



14

14

企画展Ⅴ 「キミはだまされる！？ 錯視びっくりな世界」

令和7年12月6日（土）～令和8年2月8日（日）



展示



錯視ワークショップ

15

15

企画展Ⅵ

「宇宙の日」記念行事全国小・中学生 作文絵画コンテスト作品展」

令和7年12月25日（木）～令和8年1月18日（日）



16

16

企画展Ⅶ

「星景写真展～美しい星空を求めて～」

令和8年2月14日（土）～令和8年3月15日（日）



展示



星景写真展 特別講演会

17

17

プラネタリウム投影事業

一般投影

R8.2.28現在

番組名	投影期間	投影回数	総入場者数 (人)
ドラえもん	R7.4.1～R8.3.31	209	17,522人
しまじろう	R7.4.1～R8.3.31	155	6,309人
天空の果てへ	R7.4.1～R8.2.23	67	2,008人
おじゃる丸	R7.7.19～R8.3.26	133	4,100人
COSMOS	R7.7.23～R8.3.31	49	1,039人
星宙散歩	R7.4.12～R8.3.21	36	990人

特別投影

R8.2.28現在

番組名	実施日	投影回数	総入場者数 (人)
宇宙兄弟舞台巡りプラネタリウム	R7.11.23	1	34人
プラネタリウム de 読み聞かせ	R8.1.25	1	135人
はじめてのプラネタリウム	毎月1回	11	967人
熟睡プラ寝たリウム in さいたま	R7.11.23	1	84人

18

18

学習投影（プラネタリウム学習利用）

小学4年生（科学館会場）

中学3年生（科学館会場）



	実施期間	学校数	参加人数
小学校	R7.5.13～R7.12.3	104校	11,996人
中学・中等教育学校	R7.9.2～R7.12.3	59校	10,433人
さくら草特別支援学校	R7.10.15 11.13	1校	20人
ひまわり特別支援学校	R7.10.17	1校	14人

※その他 ルーテル学院小学部、埼玉大学附属小も実施

19

学習投影評価（小学校）

学習効果に対する評価（106校）

	そう思う（A）	どちらかという そう思う（B）	どちらかという そう思わない（C）	そう思わない （D）
興味・関心	100%	0%	0%	0%
理解	97.2%	2.8%	0%	0%
説明	100%	0%	0%	0%

- 設問
- 興味・関心…児童の興味・関心を高めることができた。
 - 理解…月や星の動きと時間の経過についての理解を深めることができた。
 - 説明…科学館職員の説明はわかりやすかった。

学校からの実施報告書より

- ・太陽の動きと比べながら月や星の動きを考えさせていてわかりやすかった。教科書にはない、惑星や星座にまつわる物語など、知的好奇心をくすぐる話が充実しており、児童はもちろん教員も楽しく参加することができた。
- ・星座早見の使い方が3段階のポイントにわけられて、1つずつ手順を踏んでいけばよく、説明も非常に丁寧でわかりやすかった。
- ・サイエンスショー「空気のふしぎ実験」は、目に見えない空気存在を、実験を通して知ることができ、児童は最後まで目を輝かせて見学していた。

20

学習投影評価（中学校・中等教育学校）

学習効果に対する評価(60校)

	そう思う (A)	どちらかという そう思う (B)	どちらかという そう思わない (C)	そう思わない (D)
興味・関心	96.8%	3.2%	0%	0%
理解	91.9%	8.1%	0%	0%
説明	96.8%	3.2%	0%	0%

- 設問
- 興味・関心…生徒の興味・関心を高めることができた。
 - 理解…天体についての理解を深めることができた。
 - 説明…科学館職員の説明はわかりやすかった。

学校からの実施報告書より

- ・天球の空間的な広がりを感じながら天体の動きを理解することができた。
- ・星座に関して授業で触れることがほとんどなかったため、生徒にとっては新しい発見になった。
- ・地球と太陽の関係、また土星の表面温度を想定した液体窒素を使った実験など学校で準備することが難しいものを使って説明していきやすかった。
- ・実際の比率に合わせた太陽や地球のモデルなどを用い、短時間で多くのことを理解しやすい説明であった。

21

21

普及事業

R8.2.28現在



魅力ある教室事業



定例ワークショップ



館内イベント
(特別サイエンスショー)

事業名	実施回数	参加人数 (人)
天体観望会	11回	827人
土曜 ワークショップ	53回	3,941人
特別 サイエンスショー	3回	1,389人

22

22

令和7年度教室事業一覧

R8.2.28現在

事業名	実施回	参加人
科学実験教室（ハートキッズ教室含）	6回	98人
科学工作教室（電波工作教室含）	7回	130人
昆虫博士教室	7回	804人
自然観察教室	2回（1回中止）	51人
顕微鏡教室	4回	48人
天文宇宙教室	3回	17人
STEM教室	3回	48人
切り絵教室	2回	108人
サイエンス教室（ディレクトフォー）	2回	24人
サイエンス教室（くらりか）	4回	67人
合計		1,395人

23

若田宇宙飛行士関連事業

若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース



● 応募者 / 16人

- ・全9回のリニューアル
- ・JAXA相模原キャンパスへ見学
- ・元JAXA職員による講義やハイブリッドロケットの発射実験など
- ・宇宙開発分野で躍進する企業による講義
- ・ディスカッションを通して考えを深め合う
- ・「宇宙のまち さいたま」フォーラムでのプレゼンテーション

成果 受講者アンケート結果より、肯定的な回答が95%を上回った。
感想 回を重ねるごとに、ただ理解して納得するだけでなく、疑問が浮かんだり、発展した内容が知りたくなったりして、着実に宇宙への興味・関心が高まった。協力することで新たなアイデアが出てきた。

24

若田宇宙飛行士アカデミー ロボットコース

★発達段階に応じたロボット教室

ロボット・プログラミング入門（小1～小3）向け：ディスカバリーコース
 ロボット・プログラミング応用（小4～中3）向け：チャレンジコース

ロボットコースディスカバリー	実施日	参加人数
ロボットミッション1・2・3	R8.1.12	34人
プログラミングロボットで遊ぼう	R7.10.5	20人
かべよけロボットを作ろう	R7.9.15	19人
ロボットコースチャレンジ	実施日	参加人数
スカベンジャーロボットを作ろう	R7.8.17	19人
プチロボを作ろう	R7.9.14	15人
宇宙エレベーターロボットを作ろう	R7.7.13 R7.11.30	31人



25

25

若田名誉館長杯ローバーロボット大会2025

令和7年8月24日（日）

小学生の部



中学生の部



	対象	参加チーム数・人数
小学生の部	小学4～6年生	16チーム 32人
中学生の部	中学生	20チーム 40人

コズミックカレッジ

キッズコース 令和7年 9月14日（日） 宇宙劇場会場

ジュニアコース 令和8年 3月 1日（日） 青少年宇宙科学館会場

コース	対象	内容	参加人数
キッズコース	小1・2年生とその保護者	星砂を探そう・かさ袋ロケットを飛ばそう	19組39人
ジュニアコース	小3～中学生	簡易真空実験・空力翼艇	18人

26

学校等支援事業

スクール・サポート・サイエンス事業



出前授業
(対象：小学3年・小学6年)



出前天体観望会
(対象：小・中・中等教育・特別支援学校)

令和7年度実績

出前授業 応募校数：32校 実施校：18校
(3学年：11校 6学年：7校) 【参加人数：1,902人】

出前天体観望会 応募校数：9校 実施校：3校
曇天等により5校中止 【参加人数：446人】

※参加人数は実施届が提出されている学校のみ

27

スクール・サポート・サイエンス事業（評価）

アンケート実施(18校)

	そう思う (A)	どちらかという と そう思う (B)	どちらかという と そう思わない (C)	そう思わない (D)
興味・関心	100%	0%	0%	0%
内容	100%	0%	0%	0%
説明	100%	0%	0%	0%

- 内容…児童が学習内容を理解することができた。
- 説明…教材・教具や科学館職員の説明は効果的であった。

学校からの実施報告書より

- ・児童の興味のひき方、実験用具の活用の仕方など一つひとつがとても参考になった。
- ・一人ひとりが実際に体験することで、理解を深め、内容も引き込まれるものであった。
- ・児童が体験して気づいたことを話し合ったり、既習事項を思い出して話し合ったりしていた。楽しみながら学習できていた。

28

中高生等科学館ボランティア



ワークショップ運営

参加校数・人数

中学校：26校63人 中等教育学校：2人 高等学校：8校11人

感想

- ・自分で考えてわかりやすく説明し、お客さんから「ありがとうございます」などの感謝の言葉をもらえてやりがいを感じた。
- ・いろいろな年齢の相手に合わせた話し方や伝え方を工夫することができた。科学的な知識も増えて、お客さんに伝えることができた。
- ・普段、当たり前に参加しているイベントの裏では多くの人が手間や時間をかけていることに気づいた。

29

29

サイエンスフェスティバル

ワークショップ

令和8年1月31日(土)、2月1日(日)
2日間 2,593人
参加校数・生徒数
10校 計 100人



ワークショップ

サイエンスショー動画コンテスト

令和8年2月13日(金) 表彰式
参加校数・生徒数 5校7チーム 41人

最優秀賞 田島中学校
優秀賞 埼玉大学教育学部附属中学校
パフォーマンス賞 与野南中学校



サイエンスショー

感想

- ・さまざまな人と関わり、いろいろなことを学べた。
- ・準備したかいがあり、喜んでもらえて嬉しかった。
- ・(動画を見た小学生) わかりやすかったし、身近のものでできるからやってみたいと思った。

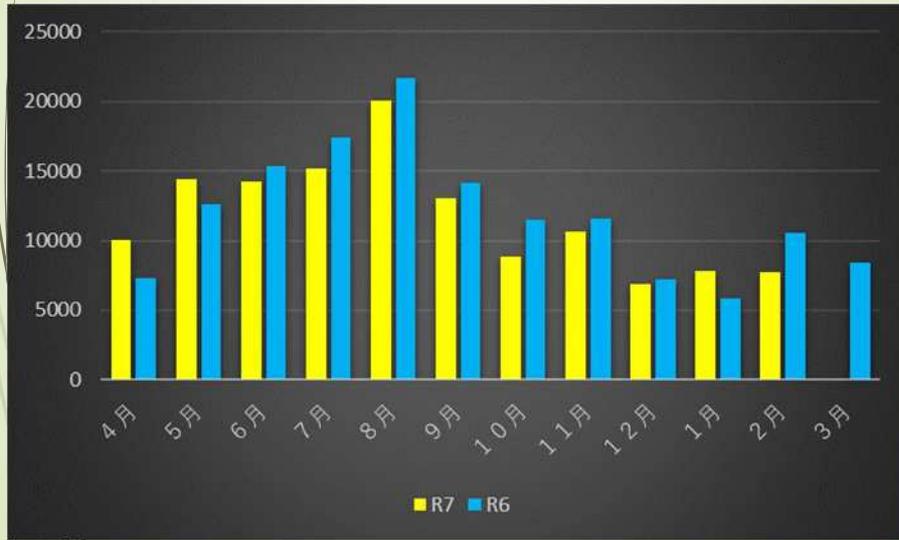
30

30

統計

①入館者数

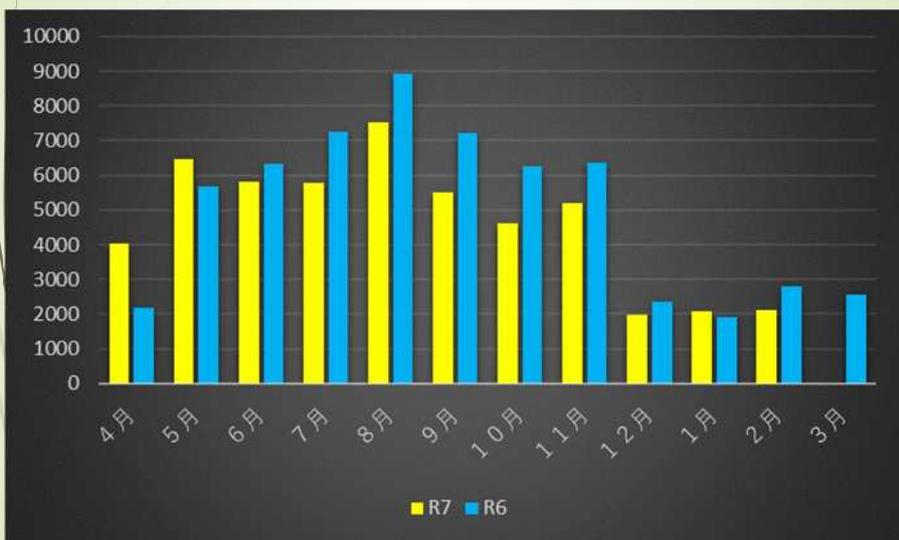
※R8.2.28現在



31

②プラネタリウム利用者数

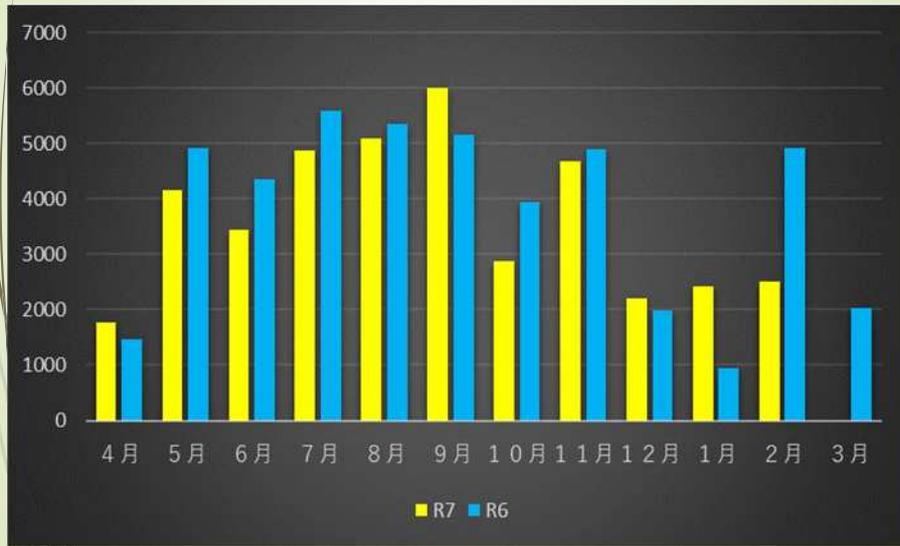
※R8.2.28現在



32

③施設利用者数

※R8.2.28現在



33

33

広報活動概要(報道発表含む)

※R8.2.28現在

(1)チラシ年6回

(2)ラジオ

- ・REDS WAVE「さいたまピックス」で毎月2回科学館から電話出演(録音)

(3)雑誌・情報誌・Web

- ・市報さいたま
- ・埼玉県広報誌
- ・さいたま子育て情報局
- ・株式会社ナビタイムジャパン 「NAVITIME Travel」
- ・昭文社 「まっふるマガジン まっふる埼玉」
- ・ぴあ株式会社 「こどもとおでかけ365日 首都圏版」
- ・埼玉観光情報 「ちよこたび埼玉」

34

34

広報活動概要(報道発表含む)

※R8.2.28現在

(4)テレビ

- ・テレビ埼玉 8月 8日 「ニュース530」(「電気展 電気の不思議ミュージアム」紹介)
- ・テレビ埼玉 8月16日 「いまどき埼玉」(施設紹介、さいレンジャー紹介)
- ・日本テレビ 11月24日 「県民スター栄誉賞」(施設紹介、若田光一氏特集)
- ・テレビ埼玉 1月 7日 「ニュース530」
(「錯視展 キミはだまされる!? 錯視びっくりな世界」紹介)

(5)新聞(電子版含む)

- ・埼玉新聞 9月 1日 青少年宇宙科学館紹介(彩の国だより)
- ・公明新聞 8月24日 青少年宇宙科学館紹介

35

35

令和7年度 成果と課題

成果

- ・「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトの広報
館内の掲示、教室事業や学習利用での広報
- ・教室事業やイベントの申込が多い
生涯学習情報システムを利用した申込で、ほとんどの事業
で抽選になっている。
- ・学習利用の円滑な実施
バスの利用が不安定な中、全校実施できた。
学校の実情に寄り添い、行程を工夫した。
- ・子どもたちや参加者の意見を取り入れた事業の改善
中高生ボランティア、プラネタリウム学習利用
スクール・サポート・サイエンス事業(出前授業)

36

36

令和7年度 成果と課題

課題

- ・教室事業の内容と講師の引継ぎ
- ・プラネタリウム学習利用やスクール・サポート・サイエンス事業の内容のブラッシュアップの継続。
- ・広報活動の充実

来年度から、小・中学生へ一人1枚配付していたチラシを、全庁的な取組から、各学校50枚程度へ縮小。デジタルチラシへの変更が行われる。それに伴い、更なる広報活動の充実が求められる。

37

37

(2) 令和8年度 主な事業計画

【「宇宙のまち さいたま」フォーラム】

- 講演会** JAXA職員または宇宙開発企業による講演会
発表 若田アカデミースペースコース受講生による発表
イベント 「宇宙のまち さいたま」サポーターによるワークショップ

【「宇宙のまち さいたま」事業の充実】

- ・若田宇宙飛行士アカデミー「スペースコース」全8回実施
- ・若田名誉館長杯 ローバーロボット大会の運営方法の改善

【館内イベント】

- 企画展** おうちの科学展、科学館まつり、スポーツと体展、土木展 他
プラネタリウム 通常番組投影・読み聞かせ・はじめてのプラネタリウム 等

【学校連携事業の充実】

- ・スクール・サポート・サイエンス事業 授業改善

38

38